

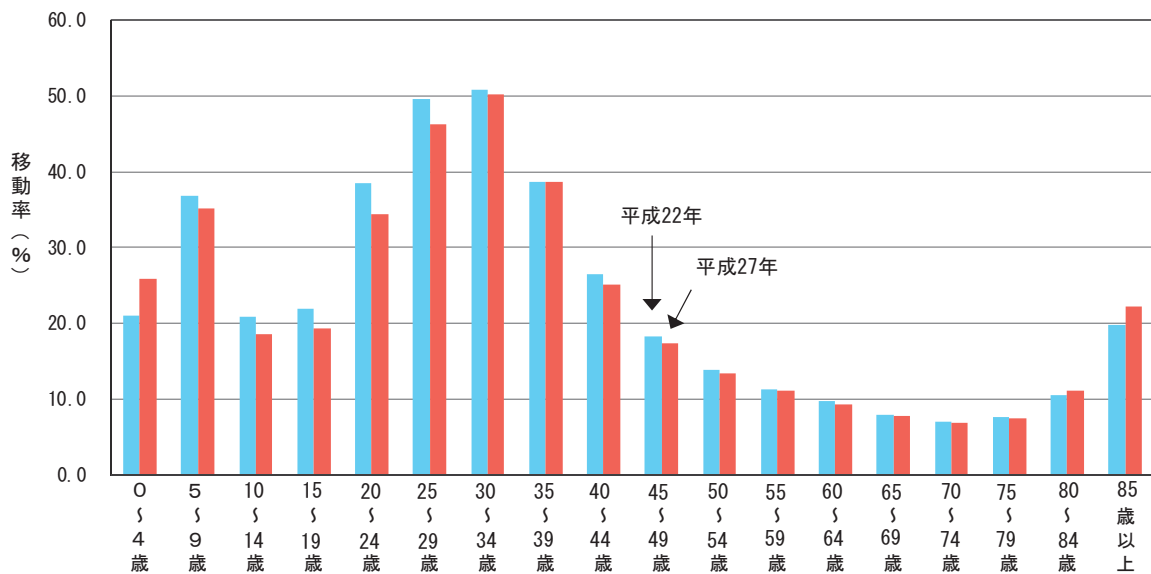
## 2-3 転出・転入 —若者はどこへ—

引っ越しを経験したことがありますか？国勢調査では、どれだけの人が、どこへ移動したのかを調べています。特に移動が多いのは20～30歳代の若者たち。進学、就職、転勤、結婚、出産などライフステージの変化に合わせて、住む場所を変える人が多いからでしょうか。また、どの都道府県に移動したかについてみると、国内での人の動きもみえてきます。

### Q1 引っ越しをする人が多いのは何歳くらいの人？

速報

年齢（5歳階級）別移動率—全国（平成22年，27年）



#### A 20～30歳代

- ◆ 5～9歳で住居を移している人は3割を超える
- ◆ 70歳以上では、年齢階級が高くなるにつれて住居を移す割合が高くなる傾向

用語④ P. 33

注意点⑥ P. 33



#### 《ポイント》

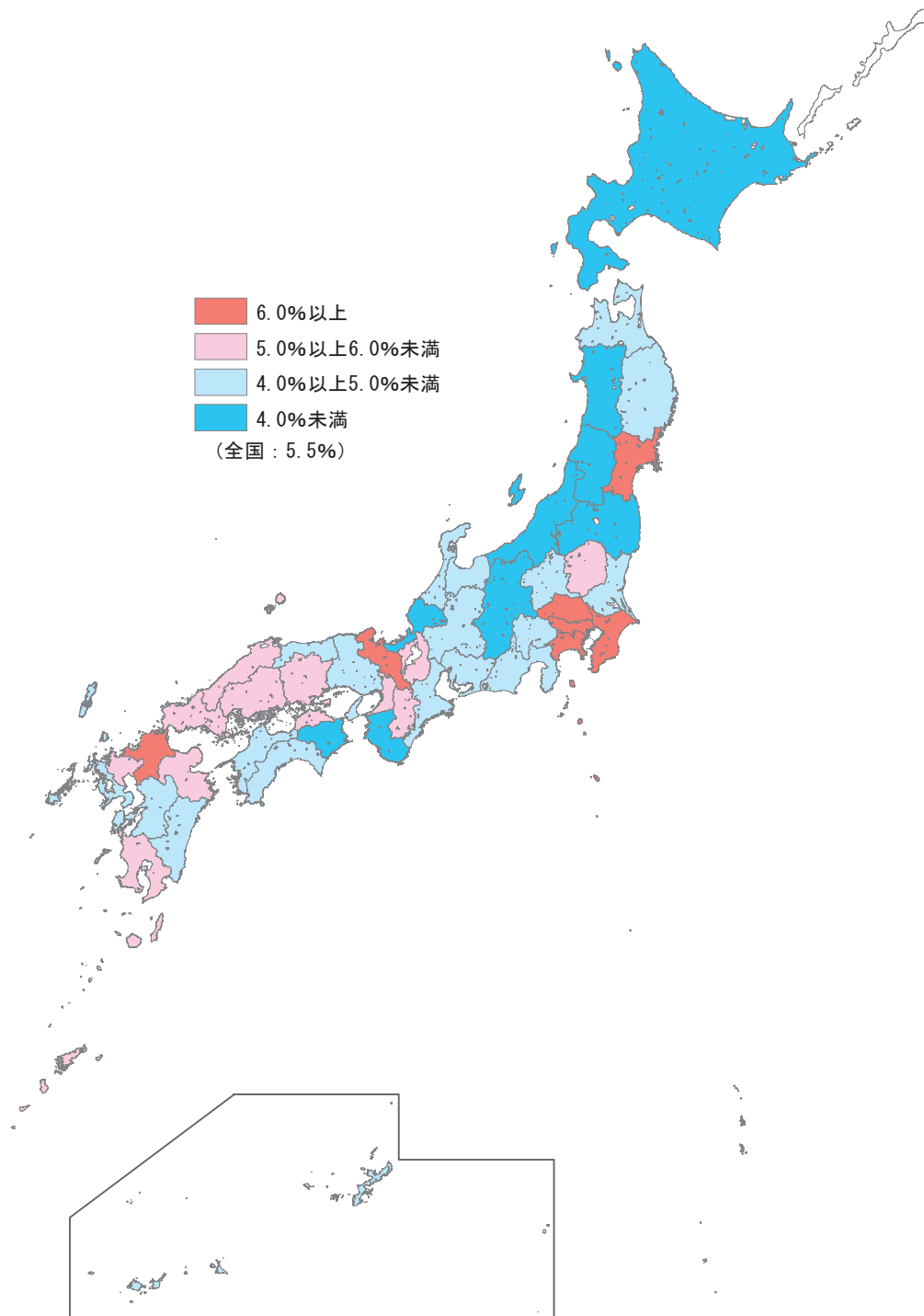
10歳未満の子供は、親と一緒に引っ越しをすることが考えられます。

20～30歳代の若者は進学や就職、転勤などのため、85歳以上の高齢者は老人ホームなどの施設に入所するため引っ越しをしていることが考えられます。

Q2 県外から引っ越してきた人の割合が最も高い都道府県はどこ？

速報

5年前の常住地「転入」の割合—都道府県（平成27年）



**A 東京都(9.5%)**

◆ 2位 神奈川県 (7.0%) 3位 宮城県 (7.0%)

◆ 「転入」の割合が低い都道府県は

1位 北海道 (2.6%) 2位 福井県 (3.0%) 3位 和歌山県 (3.1%)

※ 順位は小数第二位以下の数値による

用語⑤ P. 33

2-3  
転出・  
転入